

第3回アクティヴ・エイジング研究所 研究報告会プログラム

～超高齢社会におけるパラダイムシフト～

日時 2016年3月11日(金) 13:00 ~ 17:30
場所 早稲田大学 西早稲田キャンパス 63号館2階 第3会議室
主催 早稲田大学 アクティヴ・エイジング研究所
共催 早稲田大学 スーパーグローバルユニバーシティ
(健康スポーツ科学, ロボット, ナノエネルギー材料)

13:00～ 開会挨拶 樋口満

13:05～ 講演①「アクティブエイジング研究から生まれる新しいナノ医療材料の概念と展開」藤枝俊宣
〈30分(25分発表+5分質疑応答)〉

13:35～15:15 融合研究報告① 〈20分(15分発表+5分質疑応答)〉

1. 日常生活・スポーツ使用時に違和感のないRFID搭載ナノシートの開発 (U-1/R・T)
2. 1細胞からのmRNA発現解析技術を利用した時計遺伝子発現パターン解析法の確立 (U-2/S・T)
3. 導電性ナノシートを用いた皮膚表面の形状変化を計測可能なフィタブルセンサの開発 (U-3/R・T)
4. 骨格筋由来因子が乳ガン細胞のエネルギー代謝に及ぼす影響 (U-4/S・T)
5. 中高齢者のランニング障害リスク低減のための足部・足関節の動作解析と2足ヒューマノイドロボットによる模擬 (U-5/R・S)

15:15～15:30 休憩

15:30～16:50 融合研究報告② 〈20分(15分発表+5分質疑応答)〉

6. 運動錯覚を利用した他肢筋への促通効果の検討 (U-6/R・S)
7. 第三者視点からのリアルタイム視覚フィードバックによる運動パフォーマンスの検討 (U-7/R・S)
8. 新規老化関連バイオマーカーの探索 (U-8/S・T)
9. 装着型押込み反力計による筋硬度評価モデルの構築 (U-9/R・S)

16:50～17:00 休憩

17:00～17:30 講演②「アクティヴ・エイジング研究所の今後の展開について」一之瀬貴
〈30分(25分発表+5分質疑応答)〉

17:30 閉会挨拶